

とことん知りたい!

台湾!

第12回

早いもので、本コラムも12回目です。隔月で寄稿させて頂き2年が経とうとしております。編集担当の方には、毎回締切寸前まで辛抱強く校正にお付き合い頂き、感謝しております。本コラムが、いくばくか皆様のお役に立てていれば幸いです。さて今回は台湾の国防について少しだけ書かせて頂きます。



台湾の徴兵制

台湾は、18歳から36歳までの男性に対し兵役の義務を課しています。1951年から続く制度で、当初その期間は陸軍2年、空海軍3年とされていましたが、1990年から三軍共に2年に、そして1年10ヶ月にと見直され、2005年には徴兵制と志願制の両方を採用し、2008年以降は更に1年へと短縮され、2012年頃から3年を目処に志願制への完全移行を検討するも、少子化により遅れること6年。2018年に当時の試算で「実際に必要な軍人数に達した」と、徴兵制から志願制への移行完了が発表され、台湾の徴兵制は正式には廃止されたこととなりますが、4ヶ月間の軍事訓練義務は継続されてきました。



2022年12月この軍事訓練期間について「苦渋の決断」とし、当時の蔡英文総統が「平和は空から降ってくるものではない」と述べ、国家安全保障最高会議において検討した結果として、2024年1月1日より、2005年1月1日以降に生まれた男性を対象に1年間と延長しました。同時に将来的な国軍兵力構成として志願兵を「主力戦力」としながら、常時義務兵を確保することで「予備兵力」とし、義務兵の給与も現行の月額約6,500台湾ドルから2万6,307台湾ドルに大幅に増額。また従来就学中は、兵役の義務が自動的に延期されてきましたが、就学中であっても長期休暇を利用し、兵役義務を果たすことができるようにも変更されました。

聞いた話では18歳を迎えた9月の時点で、就学中ではない男性に対し、区役所から兵役のお知らせが届くようです。大学生の中には先に兵役を終え、一年遅れで入学する子もいて、3月から4月の大学入試合格後、休学届を提出し、兵役のお知らせを待つといいます。専門知識がある場合それを活かした配属先になるようですが、通常は全く分からないようで、運よく自宅から近い所だと週末帰宅もできたそうです。

兵役に関しては健康診断と身体検査があり、貧血や低視力、不整脈などの基礎疾患がある場合、また身体基準（2023年5月改訂）「身長155cm（旧157cm）未満または196cm（旧195cm）以上、BMI（体格指数）の上限が35（高度肥満）（旧31.5）以上または15以下」の場合は、不合格となります。

現在40代後半の知り合いは、兵役を免れるために大学院修了後、当時の「身体基準（110kg以上）を超えて免れた」と笑いながら話してくれたことがあります。現在の彼からは、想像もつかないのでその後見事ダイエットに成功したのでしょう。私なりに調べたところ、確かな相関関係は見当たらなかったのですが、「男子学生は兵役がブランクとなるため、大学院修士・博士へ進むのは女子学生が多いのだ」と言っていた人もいました。

萬安演習

1978年から年に一度行われている台湾有事を想定した大規模演習。昨年2024年（第47回）の訓練は、7月22日の午後1時半から30分間、中部・北部・南部・東部及び離島と、連続4日間にわたり行われ、その様子は日本のメディアでも取り上げられました。市中にサイレンが鳴り響き、バスやタクシーも路肩へ停車、乗客も全員地下や建物の中に避難しなければならず、違反者には日本円で約15万円から70万円近い罰金が課せられます。既に47年も続いている萬安演習ですが、実は私がこの演習の存在を知ったのは、つい最近のことです。私がいた2009年から2016年の頃も、演習は行われていたはずですが、それ程緊迫したものではなかったためと思われます。

とはいうものの、台湾において軍事が身近であることには気づいていました。渡台当初、近所に住む子が、「父は軍人です」と紹介してくれたのですが、私の勤める大学に勤務していると聞き、奇妙に思ったものです。彼らは「教官」と呼ばれていたと記憶しています。学内で軍服を来た彼らを何度も目にしましたが、不思議な感覚でした。大学によって異なるようですが、留学生や既に兵役を終えた学生以外は、一年時の必修科目に「全民國防教育軍事訓練」というものがあります。男子学生限定ですが、この科目を履修することにより、兵役日数が数日免除されるという、何とも台湾らしいオプションもあるようです。

（石橋妙子）

中国語一言レッスン

シャオシン
「小心」

細かいを表す「小」と、気を配るという意味の「心」とで、「気をつけて」となります。語尾に「哦」や「餒」がつくと「気をつけてね」と柔らかく聞こえます。注意を促す際などは是非使ってみてください。